

令和8年度 第1回三田市健康審議会 議事要旨

日時	令和8年8月6日(木) 14 時 00 分～
場所	総合福祉保健センター 2 階 講座室
出席委員	中井委員、岡本委員、大隈委員、坂口委員、森委員、平岩委員、 山本委員
欠席委員	塩谷委員、武田委員、大崎委員、野原委員
行政	健康福祉部 : 外岡部長、喜多部長、鶴次長 健康増進課 : 田中課長、上月副課長、三木係長、西山主任、遠藤 地域福祉課 : 中村課長、池田副課長、西中係長

【次第】

1 開会

事務局開会あいさつ

2 挨拶

外岡部長よりあいさつ

3 委員紹介

各委員紹介

4 報告事項

(1) 令和 7 年度の取り組みについて

…資料1-1 第 3 次健康さんだ 21 計画の実施状況(令和 7 年度)

資料1-2 第 3 次健康さんだ 21 計画 進行管理シート

事務局

資料に沿って説明

5 協議事項

(1) 令和 7 年度重点事業の取組状況と令和 8 年度の事業展開について

・健康増進事業の取組状況と今後の事業展開について

…資料2 健康増進事業の取組状況と今後の事業展開について

事務局

資料に沿って説明

委員

資料2の6ページ、大腸がん郵送方式の上から3～4行目の記載について、標準化死亡比とはどういう意味か。また『三田市においては、直腸癌の男女別標準化死亡比は県内平均より高くなっている』という記載があるが、男女とも直腸癌が多いということか。

事務局

標準化死亡比の用語解説については、『第3次健康さんだ21計画』冊子の11ページ下段に記載している。各地域の年齢階級別人口と、全国の年齢階級別死亡率により算出し、年齢構成の違いの影響を除いた上で、死亡率が全国と比べてどうかというのを表すものである。

また資料2の記載は、女性の直腸癌の標準化死亡比が県内平均に比べて高いことを指している。冊子11ページ下段のグラフは平成28年から令和2年のデータであるが、女性側の悪性新生物について、直腸癌が少し枠の範囲から飛び出ており、ここが県平均よりも悪いことを示している。

委員

資料2の7ページ、骨粗しょう症および骨折予防対策の上から2行目に、『三田市の入院レセプト件数は国平均の約1.4倍』と書かれているが、この数値はかなり高いと思う。可能性でもよいが、何か高くなっている原因はあるのか。

事務局

原因については、十分にアセスメントができていない所があるが、兵庫県後期高齢者医療広域連合が出している三田市の分析資料において、三田市は国と比べて入院レセプト件数が多かった。骨粗しょう症・骨折予防対策に注目してほしいという意図を込めて、この数字を入れている。

委員

まちかど健康チェックについては、昨年に引き続き今年度も実施されとのこと。昨年参加させてもらったが、肌年齢測定の際に、いざ使うところまで行ってペースメーカーの方は使えないと分かった。案内に書くか、もしくは実施前にペースメーカーの方は使えないことを表示してほしい。機械を使用する際は、ペースメーカーの入っている方などにも配慮した方がよいのではないかと思います。

・自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

…資料3 自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

事務局

資料に沿って説明

委員

ゲートキーパー講座について、社会福祉協議会としては特に地域の方や、こども食堂、地域サロンの方と連携を図っているので、もし周知等が必要であれば協力する。

また自殺対策として、市内で「見守りカメラ設置中」という水色の1メートルぐらいの大きなシールを橋桁の方にいくつか貼っている所や、ブルーのライトが心を落ち着かせるということで、踏切にブルーライトが設置さ

れている所もあり、そういった対策もされているのだと感心していた。一方で自殺者については、高齢者も多く、また全国平均では子どもの自殺も多くなっているとのことであるため、社会福祉協議会としても関係機関と連携して対策を図っていきたいと思っている。周知等についても共有する。

健康関係についても、いきいき百歳体操等の事業を通じて、周知啓発等つなげていく。引き続き連携をお願いしたい。

委員

自殺対策については、なかなか難しいところもあるが、引き続き様々な対策を行ってほしい。自殺対策用のファイル等を配っているとのことであるため、少しでも周りに浸透すればと思う。

また、健康増進事業では、フレイル予防対策としてフレイル予防教室等で協力しているが、参加者は骨折予防に関して、関心が高いと感じている。引き続き、メンバーと一緒に協力していきたい。

委員

若年層自殺対策について、小・中・高校生に対しては、特に長期休業明けの9月始業式に向けて、自殺が多いというのは前から聞く話だが、先生方や学校関係と連携した形で面接するか、あるいは、家庭との連携を取るということも併せて対策してほしい。

委員

周りで自殺した方の話を聞く機会があり、自身の身近なところでも直面した問題である。資料でも、三田市の令和7年度の40歳から49歳の自殺する要因に健康問題がある。例えば難病など治りにくい病気で健康問題を抱えている方に対する対策があればよいと思う。そういった病気を抱えている方に対する、ケアや講座などがあればよいと思う。また健康問題を抱える人の家族に対する講座も何かあれば、取り入れていただきたいと思う。

副会長

他に意見等があれば、後日事務局までお願いしたい。

6 その他

なし

7 閉会

喜多担当部長より閉会あいさつ